

## 「震災の社会学」 = 人と人、心と心の触れ合い…



今回は、旭川大学出張講義を開催しました。旭川大学准教授 大野剛志先生を講師にお迎えし、「震災の社会学」について学びました。

東日本大震災から8年が過ぎましたが、時が経つにつれ課題も多く、また大きくなったということです。家族・住宅・健康・地域・環境・教育問題などが山積し、将来への希望や夢が見出せない人たちがたくさんいるということです。

私が現役時代、中学生に下の2枚の写真を紹介しました。一枚は、「**ままへ。生きてるといいね。お元気ですか。**」と書きつつ寝てしまった幼子、もう一枚は、「**はやくうちに帰ってあげたい**」と重機の資格を得て娘を探す母親」です。その後、どうしているのでしょうか。「自然との共存」は、勿論理解はしています。しかし、予想をはるかえた自然の猛威に、なす術もない私たち…自然大災害や大震災の中で「自然への畏怖・畏敬の念」をどう理解し、納得していくのかということです。



大野先生をはじめ旭川大学の学生皆さん方が実際に被災地に行き、ボランティア活動を通し、家族・家・財産など全てを失っている方を目の前にして何ができるのか…ただただ「話し相手になってあげる…」ということをお聞きしました。それは、被災地でなくても、人口減少、高齢社会、町内会が成立しない「孤立と孤独」の傾向がある今の現実的問題なのです。

「震災の社会学」は、いかに人との繋がりを見つけ出すのかということでしょうか。

IT化が急速に進む中、孤立化・孤独化を防ぐためにも、隣近所、地域との人間関係の再構築に向け、誰かではなく、「私は」との視点で、足元にある現実を目を向ける必要性を痛感させられました。

この度は、貴重な講義を有難うございました。大野先生をはじめ旭川大学の皆様に心から感謝を申し上げます。

### TODAY'S SCHEDULE

#### 12月4日(水曜日)

##### ◎学生自治会から

①新年お楽しみ会 2020

弁当の取りまとめ (本日提出)

②新年度の役員の選出 (2020.1.22 提出)

8時45分 当番 本科2年生

9時15分 朝の集い

10時00分 クラブ学習日 ⑩

陶芸クラブの皆さん：帰りのバスは、11時50分  
ふれあいセンター発です。ご確認ください。

12時00分 昼食・休憩

山部校の皆さんは、大会議室でお取りください。

13時00分 バス2台で緑峰高校へ出発 (詳細別紙)

1号車 12:30 発：山部クラブ→13時着

13:00 発：文化会館

2号車 13:00 発：文化会館

13時10分 富良野緑峰高校着

「令和元年度 課題研究3 学科合同発表会」

15時10分 終了 両校ともバス乗車

文化会館経由で山部、東山へ

15時30分 自治会役員会 (第一会議室)

12月16日(月曜日)

### 【樹海中学校との交流授業】

～富良野校大学院2・1年生～

10時30分 文化会館発 (11:20 樹海小着)

(カボチャ団子づくり) (会食)  
(農業体験学習の発表会)



14時10分 樹海中学校発

この樹海中学校との交流は、ことぶき大学東山校の恒例行事でもありました。東山校が閉校になっても、地域との交流を続けていきたいとの願いと思いがあって継続しています。

来年の2月には、樹海小学校や東山保育所との交流も継続していきたいと思っています。現在の大学院2年生と大学院1年生が分担しながら交流しています。

NEXT SCHEDULE

12月18日(水曜日)

8時45分 当番 本科3・4年生

9時15分 朝の集い

9時00分 学年別研究 ⑨

年末お楽しみ会の準備

この時間に希望する学年は、音出しなど  
簡単なリハーサルを希望する場合は、事務局まで連絡ください。

11時30分 諸準備

(自治会役員を中心に準備をします。)

12時00分 年末お楽しみ会

昼食・休憩

14時30分 終了 解散



魅力あるまちづくり

## 子ども未来づくりフォーラム 観覧

「～世の中は、面倒くさいことをなくして便利になってきました。手間がかかってしかたがなかったものを、新しい方法を発明して改善する、その繰り返しで世の流れができています。ところが、便利なものは諸刃の剣。便利なものを使えば使うほど、楽しみがこぼれていくことにも、そろそろ気づいたほうがいい気がします。効率と便利さを追求した結果、失っていくものもあると自覚する。僕たちは、そんな時期にさしかかっているのではないのでしょうか。だから、毎日をしていねいに、手間をかけましょう。何に手間をかけようか、考えながらその日を送りましょう。あえて手間をかけることで、ささやかながら極上の喜びを見つけるはずです。～」

これは、「今日もていねいに」という本からの引用です。ことぶき大学で学ぶ「絵手紙」「切り絵」「書道」「お茶」「陶芸」「山部クラブ」などのクラブ学習は、正しくこの手間をかけたものです。メール、携帯、電話ではなく、絵手紙に心を込めて送ること、なんて美しいのでしょうか。

この度、市内の各小学校の皆さんが取り組んだ「子ども未来づくりフォーラム」は、そういったあえて手間をかけることで、ホンモノの未来づくりに繋がるものなのだとこの提案です。

スマホ、携帯、IT化と情報化時代に適応できる力を育てることは大切です。しかし、その生きる力の根底には、血の通った温かな人間関係や相互信頼関係が育っていかなくてはならないはず

です。そう言う意味では、これからの高齢社会において、ことぶき大学で学ぶ皆さん方が指導者となり、社会や地域の魅力と人間愛の大切さを、未来に伝える使命をもっているのだらうと思っています。この度の「子ども未来づくりフォーラム」で

の発表の仕方、内容ともとても質の高いものでした。

未来への子供たちに大人な何を残してあげられるのか。私たちに問われているのです。



山部アピール大作戦!

